※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新高等保健体育　大修館						
副教材等	新高等保健体育ノート　大修館						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高める。
・運動の楽しさや喜びを深く味わうことをできるようにする。
・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。
・健康と安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2　学習の到達目標

(1)　運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。
(2)　生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	【選択体育】 サッカー　卓球　バレーボール　水泳 テニス　体つくり運動	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 体ほぐし運動 新体力テスト 【球技】 サッカー　卓球 バレーボール テニス 体つくり運動	球技 a:球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例をあげている。攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 b:攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み 方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている c: 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること， 作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや， 健康・安全を確保しようとしている。 水泳 a:技術の名称や行い方について、学習した具体例をあげている。背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 b:自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。 c:水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保している。	スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート	観察 レポート
2				スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート	観察 レポート

※令和４年度以降入学生用

	体育理論	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 豊かなスポーツライフの設計の仕方	a:スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。 b: スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい課題解決に向けて思考し判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 c: スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について主体的に取り組むことができる。	レポート テスト	レポート テスト	レポート 観察

※令和４年度以降入学生用

3	【選択体育】 サッカー　卓球　バスケットボール　水泳 テニス　体つくり運動	【球技】 サッカー　卓球 バレーボール テニス 体つくり運動	a:勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの 多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決 の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空 間への侵入などから攻防をすること。 ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をしている b: 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理 的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えようとしている。 c: 球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること， 合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 水泳 a:技術の名称や行い方について、学習した具体例をあげている。背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 b:自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。 c:水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保している。	スキルテスト 観察 レポート	スキルテスト 観察 レポート	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度